

善光寺の御詠歌

松 濤 基 作 曲
鈴 木 錦 承 振 付

唱え奉る善光寺の		正座合掌	
御詠歌に		立つ作法により静かに立ち上り合掌をとく	
図解	歌	手	足
	ふみ まよ	同時に両手両側より掌を伏せて胸前に交差し直ちに裏返して左右に開く(2回行う)	右足より右斜前方に四歩進む
	う ―	同時に両掌を外側に向けて立て右方に出す	右足を更に左足前方に踏み出し軽く屈膝する
	ふみ まよ う ― (半拍休)	前動作を左斜前方に行う 即ち左足より四歩前進、左足を更に踏み出し 軽く屈膝両手は左方に出す(体重左足にかける)	
	こ ころ の	右足を右方に出し同時に両手左下より右上方に振りあげ(掌下) 次に左足を右足前方を通り右方に出す 同時に両手左下方に軽く振り下す(掌下)	
	や み を	右足を更に右方に出し同時に両手掌を外にして右上方にあげ 左足を右足の後につき右手は頭上(掌外)左手顔の横にあげ(掌外) 軽く屈膝して目は下を見る	
	て ら し ま せ ― ―	「こころのやみを」の動作を左方に反対に行う	
	て ら し ま せ ― (半拍休)	右足を一步前方に出し体重をのせ 両手両側より前方上方に捧げる 右足さげて左足に揃え 軽く屈膝して胸前に合掌する	
	(半拍休) わ し の み や ま に	両手横に開き スリ足にて右まわり両手軽く3回羽搏きして 正面向きとなり 頭上に山型をつくる	

図解	歌	手	足
	(半拍休) わ し の み や ま に	両手横に伸ばし 前と同じ動作を左足より左まわり前進し 左方に行う	
	(休) の ― ば ― ―	軽く腰をおとして右足より後退し 両手は左右、両側つづいて下方の順に 通り立ち止まり	
	る (半拍休) (休) (休) つ ―	サッと上方にふりあげる 掌は向かい合す 両手掌を前方に向け 両手掌を向い合す	
	き ― ― イ イ	両手静かに眼前より交差し更に 腕前を交差して通り両側より 上挙して頭上に作円する 目は上を仰ぐ	右足を右前方一方前にふみ出し つつ 体重をかける
	か ― ― ア ア	両手静かに下しつつ 胸前に合掌する	そのままの姿で体重のみ 静かに左足に かける
	げ ― ― ―	同時に右手のみ静かに掌を 内側に向け上方に垂直に挙げ (二呼間)次に掌を上にして 捧げ仰ぎみる	右足を後に静かに引き 右膝をつき

図解	歌	手	足
		静かに頭を下げる	
	(休)		
	(休)		
左膝を引き右膝に揃え正座合掌する			

ポイント注意

- 【こころのやみを】 廻す手の動き。「こころ」の「ろ」で廻す手を瞬間止め、再び廻します。
「てらし」の「し」でも瞬間止めます。
- 【わしのみやまに】 動作が遅れないようにしましょう。「わしの」の「わ」の前、半拍休みの所で
両手を開きます。そして「やまに」の所で「山型」をつくります。
- 【かーアアげー】 仰ぎ見る動作(が遅れないように)。「つきかげ」の「げ」の四拍まで仰ぎ
見ます。